



市民と市長の対話集会

第98回

タウンミーティング記録集



平成28年1月23日(土曜日)

会 場 子育て総合支援センター
「ころころの森」

時 間 午前10時半~12時半

協力：ひがしむらやま子育て応援ネット・ころころの森

東村山市

○開催内容

平成28年1月23日（土）午前10時半、子育て総合支援センター「ころころの森」におきまして「タウンミーティング」を開催しました。当日は、約50名の方がいらっしゃる場でご意見をうかがいました。また、事前に東村山市のイイところ・オシイところについて募集したご意見やご質問を「ころころの森」に『壁面ツイッター』というかたちで掲示し、同感する意見にシールを貼ってもらいました。

なお、開催にあたっては市内で子育て支援の活動をしている「ひがしむらやま子育て応援ネット」「ころころの森」の皆様にも、壁面ツイッターの実施やランキング集計、当日の運営等、ご協力をいただきました。ありがとうございました。

●会場アンケート結果（住所地・年齢・性別について）

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち12枚を回収しました。

・アンケート回答者の年齢

20代	2人
30代	7人
40代	3人
合計	12人

・性別

男性	8人
女性	4人
合計	12人

・住所地

秋津町	3人
恩多町	2人
野口町	2人
その他市内	4人
市外	1人
合計	12人

○開催情報

●対象 市民の方（在勤・在学の方含む）

●申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日の1週間前までに

FAXまたは電話またはEメールにてご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 市民協働課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

Eメール/kyodo@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

開催日	会場	時間
平成28年3月26日（土）	市民センター	午前10時～正午

タウンミーティング記録（概要）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。東村山市長の渡部尚です。

「今日は遊びに来たつもりなのに、なんでこんなに仰々しい設定になっているのかな…」と
思っている方もいらっしゃるかと思います。「子育てするなら東村山」と言っていますが、東村山をより
そういうまちにするために、年に1回、「ころころの森」をお借りしまして、子育て世代の方の
様々な生の声を聞かせていただいています。今回で4回目になります。毎回「ころころの森」
を運営していただいている皆さんや、「ひがしむらやま子育て応援ネット」の皆さんにお世話
になって、今日も進めさせていただきます。

先週、雪が降りまして、今日も天気予報を見ると午後からまた雪マークということで、
ちょっとお天気のほうが心配ですけれども、今日はお子さんたちが遊んでいる中ではあり
ますが、ぜひ「こんなことを聞いてみたい」あるいは「こんなことを市でやって欲しい」と
いうようなことがあれば忌憚のないご意見を聞かせていただきたいと思います。今日
は司会を務めていただきます「ひがしむらやま子育て応援ネット」のSさん、よろしく
お願いします。

【壁面ツイッターの報告】

<これからも東村山市に住み続けたい！>

YES 22票 NO 1票

<東村山市のイイところ>

- 東村山は自然が多く、広い公園があつていい
1票
- 熊野公園や稲荷公園など市民が中心になつて面白い企画をしてくれるのがとてもステキ
2票
- 交通の便がいい(特急も停まるようになった)
2票
- 読み聞かせボランティアさんががんばってくれている
1票
- 人と人のつながりがある
1票

<東村山市のオシイところ>

- 出産できる産婦人科が少ない
5票
- 入りたい保育園に入りたい親子が入れる保育園になってほしい
8票
- 鷹の道の中でも特に、郵便局～ころころの森までの道は親子が通るには狭いし、危険。ミニストップの金網は雨の日は滑るし、けが人も出ているのでなんとかしてほしい
2票
- 中央公園の駐車場が少ないので増やしてほしい
2票
- 秋津と青葉の境の新空堀橋のところを渡りたい人が毎日たくさんいるのに信号も横断歩道もないので対策をしていただきたい
5票
- 小中学校の二期制をなくしてほしい。受験などほんとに不便で分かりづらい
6票
- 東村山市立の中学校の給食を完全給食制にしてほしい
6票

◎ 司会 ◎

毎年、恒例となっておりますが「ころころの森」に壁面ツイッターとして貼りだしてご意見を募集しています。まずは「東村山のイイところ」について、市長の印象に残るような意見はございますか。

◎ 市長 ◎

「東村山のイイところ」を挙げていただきましたが、私も全く同感で、挙げていただいたところが東村山の良いところ、自慢できるところで、誇りかなと思います。まずはやっぱり緑が多くて自然が豊かというところ。それから、いろいろな先輩方が大事な自然を守ろうということで、八国山や北山公園、それから東村山中央公園等の緑を守ってきてくれたというところ。それから、そうした公園を使って、今、久米川町の熊野公園や恩多町の稲荷公園で住民の皆さんがいろいろなイベントをやりながら公園の保全をしていただいているというところも、すごく東村山の良いところではないかなと思っています。

東村山市の将来都市像は「人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる東村山」ということなんです、そういったことが東村山の本当に良いところじゃないかなと思っています。

◎ 司会 ◎

次に、「東村山のオシイところ」について、ご意見を募集しました。一番意見が多かったのは「入りたい保育園に入りたい親子が入れる保育園になってほしい」でした。ここ数年、新しい保育園をどんどん建てていただいて、待機児童数もかなり減ってきているんですけども、「入りたい保育園」となると、また問題が違ってきてしまう部分なんですけれども、保育園問題に関しては市長もいろいろ思うところがあると思いますが、ご意見をいただければと思います。

◎ 市長 ◎

東村山市はかつて保育園に入りたくても入れないお子さん、いわゆる待機児が200名を超えていた時期が数年続いていまして、何としても早急に改善しなければならないということから、保育園の新設あるいは建て替えに伴って定員の増等を図ってまいりました。私が市長になって今年で10年目なんです、この間で保育園の定員数は400名以上増になってきたのではないかと思います。昨年4月時点での待機児童数は、32名まで減らすことができました。ただ、まだ待機児が出ているのも事実です。

一方で、今、私たちが頭が痛いと思っているのは、各保育園でかなり定員割れを起こしているところが出てきていまして、待機児が32人もいるのに保育園の空きが昨年4月時点で100人を超えるということで、東村山市の場合は入りたいところには入れないけれども、選ばなければ入れる状況になっています。来年度以降もこういう状況が続くかはわかりませんが、今後できるだけ待機児童を減らし、かつ、あまり大量に空きが出てしまうと民間園では経営の問題にもなってしまうので、その辺のミスマッチをどのように解消していくかということがこれからの大きな課題だと思います。

◎ 司会 ◎

次に多かったのは、「東村山市立の中学校給食を完全給食制にしてほしい」「小中学校の2学期制をなくしてほしい」ということでした。

◎ 市長 ◎

本日は乳幼児をお持ちの方が対象ということなのですが、「ころころの森」を利用されている保護者の方で2番目にご意見が多かったというのは、中学校給食と小中学校の学期制のことだということで、ちょっとびっくりしていますが、以前もお邪魔した時に「子どもはまだ学齢期前だけど中学校の給食があまり美味しくないらしいので、どうなっているんですか」というようなご質問をいただいたことがあります。

今、東村山市はスクールランチとご家庭でお弁当を作って持ってきていただくことも認めている併用方式で、お弁当でも良いですし、スクールランチでも良いですよというやり方をしています。大体6割程度のお子さんは毎日スクールランチを召し上がっていて、うちの子どもも中学生の時は毎日スクールランチを食べて、子どもからは特段「美味しくない」という話は聞いたことはありませんが、どうしてもできた時にすぐに食べられるわけではないので「温かくない」という声は聞きます。ただ、「子どもにお弁当を作って持たせてあげたい」という保護者の方もいらっしゃるので、両立させるとすると私は今のやり方がベターかなと思っています。

大体8割ぐらいの中学生のお子さんは「今のやり方で良い」というふうに言っていますので、今後、いろいろな声を聞きながら中学校給食についてもどうするか検討したいと思っていますが、しばらくは今の方式で進めたいと思っています。

それから学期制については、今、東村山市立小・中学校PTA連合協議会にご協力いただいて学齢期のお子さんの子育てをされている保護者の方とも年に1回程度タウンミーティングをやっているのですが、そこで一番多い意見としては「東村山市の小中学校は2学期制になっているが、2学期制だと夏休みが明けてから前期の試験をやったりするので、子どもにとってあまり良い影響がないのではないか」というようなご意見もいただいているところであります。学期制については、今、教育委員会でも検討作業を始めて、教育現場や保護者、それから子どもたちの意見を聞きながら、今後2学期制のままでいくのか、あるいは3学期制に戻るのか、そういった検討を始めているところでありますので、また何かの機会にご意見があればお寄せいただきたいと思います。

◎ 司会 ◎

次に多かったのはかなり具体的なお意見なのですが、「秋津と青葉の境の新空堀橋のところを渡りたい人が毎日たくさんいるのに信号も横断歩道もないので対策をしていただきたい」ということでした。この道路は市長ご存知ですか。

◎ 市長 ◎

小さいお子さんをお持ちの保護者の方だけではなくて、空堀川沿いを散歩されている方からも道路を横断するところについて「信号を設置して欲しい」というご要望はいただいています。あくまでも信号を設置するのは市役所ではなくて警察です。最終的には東京都の公安委員会が認めた箇所にしか設置されないということで、所轄の警察署が交通量や歩行者数の状況を見て、それから信号を設置する場合は歩行者の溜まり場が安全になっているかというのが前提条件になるようです。市としても「こういうところについて信号を設置していただきたい」というお願いをした経過もありますし、警察のほうでもそういった市民の皆さんのいろいろな声を受けて調査をした経過があるのですが、現状、ここについては今申し上げたような人溜まりの問題等で今のところまだ設置に至っていない状況です。それと逃げるわけではないんですけども、実は道路が東京都の道路でして、空堀川を管理している

のも東京都ということで、市としては自分の物ではないのでお願いをするという立場以上のことができないので、今後も警察署や東京都と協議をしながらできるだけ安全に横断できるようなことを取り組んでいただけるようお願いをしていきたいと思っています。

◎ 司会 ◎

道路に関しては、11月25日に応援ネットと市の協働で「東村山の道路と公園を考える」という会を開催しました。この内容について簡単にご報告させていただきたいと思いますので、応援ネット代表のHさん、お願いします。

◎ 応援ネット Hさん ◎

応援ネット代表のHです。今日は寒い中、皆さんありがとうございます。市長も職員の方もありがとうございます。

今、説明があったように、11月25日に道路を担当している職員さんと公園を担当している職員さんが「ころころの森」に来てくれました。なぜそういうことをしたかと言うと、「ころころの森」で未就学児の保護者を対象にしたタウンミーティングをやるのは今回で4回目になるんですけども、その時に道路や公園についての意見というのがすごくいっぱい出るんです。でも、例えば道路についても具体的に「ここがこうでこういうふうになっている」というふうに出さないと、職員さんからの適切な回答が得られてこなかったということがあったので、より具体的に出して返事を聞こうということになって、応援ネットのほうでこういうことをやってみました。当日は職員さんお2人が来てくださって、壁面ツイッターとか今回フェイスブックでも募集した意見を交換したり、その場で出た意見も交換して直接お話しできて、「なんでできないのか」というのはそれなりの理由があるんですね。自分の困っていることも言えて理由もわかるということで、日頃の不満が多少は軽減されるし、これから期待できるようなこともおっしゃっていただいて、すごく良い会になりました。市長もそのことに関してはお聞きしていると思うので、どんなふうに感じられましたか。

◎ 市長 ◎

市民の皆さんから見ればいろいろご不満な点が多々あるかと思いますが、市役所も限られた予算、限られた人員体制の中ではありますけれども、職員は一生懸命仕事をさせていただいています。

市民の皆さんの声を大切にしながら、やれるところをきちんとやっているわけですが、いろいろな理由でなかなかできないことも多くあります。特に道路関係は「危険なので解消して欲しい」と言う最終的には拡幅して歩道をきちんとつけるとか、横断歩道も人溜まりをつくるために少し民有地を分けていただいて人溜まりをつくって横断歩道を設置するとか、どうしてもそういうことをやらなければなりません。ちょっと広げるだけでも人の土地を買ったりということになると、売っていただくまでに時間がかかったり、お金をどうやって確保するかということがあります。ただ、市民の皆さんに「言ってもなかなかやってくれない」と思われてしまうのは我々としてもすごく残念ですし、心苦しいので、言われたことがやれるかやれないかを検討して、「やるにあたってはこういう条件をクリアして、大体、何年ぐらい先にはできるのではないか」ということを我々もある程度説明ができるので、今Hさんにおっしゃっていただいたように市民の皆さんも単に言い放して不満を募らせるだけではなく、お互いのコミュニケーションを取ることで市民の皆さんにも「今、市役所はこういうことでがんばってもらっているけど、この課題はこういう理由でなかなかクリアできないんだな」と

ということで状況を少しご理解いただけてお互いの意思疎通もできて、信頼関係があまり損なわれないかたちになるかと思えます。これから良いまちをつくっていくためには、やはりどの方面でも市民の皆さんと行政がコミュニケーションを深めて、お互いの立場を知った上で、今、市全体としては何をすべきかということ、こういういろいろなところで話し合いながら決めていくということがすごく大事ではないかと思っておりますので、すごく良い試みをしていただいたとありがたく思っています。

◎ 応援ネット Hさん ◎

その時の皆さんの意見としては、「東村山駅のところと、府中街道沿いの市役所の横の信号がすごく混む」「府中街道がすごく混んで、子どもの移動に時間がかかって困る」ということだったんですけど、今度、高架になるというのをご存知の方はいますか。

(挙手あり)

その情報はどのあたりから得ましたか。

◎ 挙手したお父さん ◎

道を歩いていたら掲示板に張り紙がしてあって、確か東京都の事業で何か所かやるということで、ちょっと時間はかかるんだろうなとは思っていますけど、貼ってあるのを見ました。

◎ 応援ネット Hさん ◎

それでご自身も改善されるようなこともありますか。

◎ 挙手したお父さん ◎

絶対に混むのはわかっていたので、あの道は避けていました。どこに行くにしても府中街道はほとんど使わずに出るという感じだったので、高架になってどれぐらい時間が短縮できるかなというのはちょっと気になる場所ですね。

◎ 市長 ◎

府中街道も所沢街道同様、東京都の道路になります。東村山市の南北をつなぐ重要路線ということで、市としてはなんとかスムーズに通行ができるように野口橋交差点から北側の道路についての整備をお願いしてきましたが、一番ネックになるのはどうしても踏切がボトルネックになってしまって、最初、東京都と「府中街道を線路の下を通すか、上を通すか」という協議をしていたのですが、踏切の上を通ってしまうと警察署の前ぐらまでオーバーパスになってしまうので、府中街道から市役所のほうに車が入って来られなくなるんです。そのため市としては「何とか線路を上げてほしい」というお願いをずっとして、ようやく今年の1月から工事が始まるようになりました。

期間としてはスムーズにいても10年かかる大工事なので、すぐに改善ということではなかなかありませんけれども、併せて府中街道についても東京都がバイパスの整備を行うということで、今、地権者の皆さんとの用地交渉に入っています。

これらはかなり期間がかかるものの、こういった整備ができてくると東村山市の中心部分でも人も車もかなり円滑に移動できるようになってくるのではないかと期待しています。以前から「ころころの森の前の鷹の道の踏切も危険なのでなんとかして欲しい」というご意見をいただいていますけれども、こちらについても鉄道が高架化されることによって少し道路幅を広げて歩道をしっかり取ろうという

計画をしています。ご発言いただいたお父さんのお子さんが結構大きくなった頃にできあがる感じにはなると思うのですが、今、市役所もそういうことで進めているということでご理解いただければと思っております。

◎ 応援ネット Hさん ◎

応援ネットのほうからのご報告は以上です。どうもありがとうございました。

◎ 司会 ◎

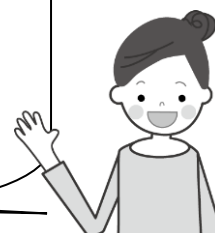
まだ壁面ツイッターのご意見はありますが、今日こちらにいる方からご意見・ご質問をいただきたいと思います。この機会に「こんなこと聞いてみたいな」「こんなことで困っている」と思っている方はいらっしゃいますか。

【会場でのご意見】

◆多子世帯へ向けて保育支援の充実を

上の子が認可保育園に入っているが、第2子を妊娠中で2人目も同じ保育園に入れるかという不安がある。「兄弟で別れてしまった」という話も聞いたりするので、なるべく兄弟は同じところに通わせてあげたい。あと、上の子と4歳差ぐらいになる予定だが、上の子が小学校に上がると第2子以降の保育料が半額になる免除がなくなってしまう。歳の差が離れてしまうとそういう優遇が受けられなくなってしまうので、そういうところを検討していただきたい。

(美住町 Aさん)



◎ 市長 ◎

ご兄弟で違う保育園になってしまったという方は結構いらっしゃって、市のほうにもいろいろとご意見いただいています。極力、兄弟が同じ保育園になるように、指数が同点の場合に優先するようにしているのですが、実際に必ず同じ保育園に行けるかというはまだそういう状態になっていないのは事実です。この辺はこれからの課題の1つかなと思っています。

それから年の離れたお子さんの保育料の関係ですが、その辺は新しい制度で徐々に改善されつつあるのではないかと考えています。今は保育園に通うお子さんが2人以上いると第2子、第3子について保育料軽減されていますが、上のお子さんが小学校に上がってしまうとそれがなくなるというわけなんですけれども、今、国の新しい制度の中では上のお子さんが小学校に上がっても第2子、第3子についても保育料を軽減していく方向で国が示していますので、まだ必ずということは申し上げられませんが、市としても国の制度に則ってそういう施策展開を図っていければと考えております。

◎ 子ども育成課より ◎

当市では、指数外の調整基準（同点時の判定基準）として、「当該児童の兄弟姉妹が在園している保育所等を第一希望としている児童を優先する」と設定しているところでございます。平成29年4月の募集に向けて、今回いただいたご意見も踏まえて基準の見直しを検討してまいりたいと考えております。

また、多子世帯の利用者負担の軽減については、国の制度変更により、平成28年度から年齢制限が撤廃される予定となっており、上のお子さんが小学校に通われることになった場合でも、下のお子さんは第二子として利用者負担が半額になる予定であります。

◆一時保育の利用について

一時保育にリフレッシュで預けたいと思って申し込みをしたが、0歳児の枠が少なくて思った日程が取れない。実家が九州で頼る人がいないので、できれば一時保育の定員が少しでも増えれば気軽に利用できるかなと思った。

(美住町 Eさん)



◎ 市長 ◎

保育園に入所するお子さんのほうはだいぶ待機児童が減ってきているんですけども、一時保育のほうは恒常的に一時保育を利用されている方がいらっしゃる状況になってしまっているのは承知しています。

普段は主に家庭で子育てをされている方の支援をもっと手厚くするという意味でいうと、今後、万が一ご病気になられたり、どうしても子どもを預けて出かせなければならなかったり、リフレッシュしたいとか、そういう時にも活用いただけるような体制を整えていく必要はあるなと思っています。

ただ、今すぐに「来年度からこういう事業を始めます」というのはないのですが、今日そういう声を受け止めさせていただいて、今後、保育園の待機児童の解消とともに、検討させていただければと思います。

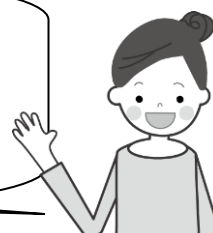
◎ 子ども育成課より ◎

待機児童が減少したことや、市内7か所の保育所で一時保育を実施していることなどから、一時保育については、以前に比べ利用しやすい環境が整ってきたものと考えております。ただし、0歳児については、対応する保育士の人数との関係もあり、対応できる範囲内で予約を受け付けております。複数の保育所に一時保育の登録していただき、利用いただくことも可能となっておりますので、必要に応じてご検討ください。

◆児童クラブの充実を

児童クラブが6年生まで入れるようになったのは知っているが、施設が増えたわけじゃないので、入りたい人がいっぱいいるんじゃないかと思う。子どもはまだ未就学児だが、小学生になった時に入れる枠をもう少し増やして欲しい。

(本町 Uさん)



◎ 市長 ◎

昨年の4月から新しい制度になって、小学校6年生までお預かりするようになりました。先ほど、「保育園の待機児は32名まで減りました」ということは申し上げたのですが、実は児童クラブは逆

に待機児が増えて、今はむしろ保育園よりも入りたくても入れない状況になってしまっています。

今、児童クラブについては全て市の直営で運営しているんですけども、これから場所の問題と、お子さんをお預かりする人員体制等といった状況を考えると、今後は民間の力も借りて保育する場所や人を増やしていかないとなかなか受けきれない状況ではないかと思っています。まだ具体的に計画が出ているわけではないのですが、児童クラブについても6年生までお預かりするような状況になっていますので、保育の質を落とさずにどうやって受け入れ数を増やしていくことができるか、早急に方針を出していきたいと考えております。

◎ 児童課より ◎

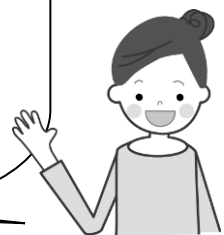
放課後児童対策として、児童クラブ以外に「放課後子ども教室」事業があり、現在4小学校で実施されております。教育委員会では、今後、全校に整備を目指しており、この事業に併せて児童クラブの整備も検討（「放課後子ども総合プラン」）しているところであります。

◆多磨全生園で親子が集えるように環境整備を

3歳の子どもを外遊びさせるのに、自然がいっぱいあってボール遊びも自由にできるところということで、よく中央公園に行っているが、恩多町なので多磨全生園とかで伸び伸びと遊べるようになったら良いなと思っている。

私は全生園の中に昔あった青葉保育園という保育園の出身で、よく全生園の中のさくら並木でお花見をしたり、小川でオタマジャクシを取ったり、自然の中でいっぱい遊べたイメージがあったが、子どもができて自分も全生園に遊びに行くかという、なんとなく入りにくい。あと、昔みたいに自然が整備されていなくて、子どもが遊ぶにはちょっと危ないかなというところもあって、なかなか足が向かない。あんな広い場所で自然がいっぱいあって、伸び伸び遊べるところがあるので、もうちょっと子どもが遊べて親子で集えるようなところに整備していただければ良いなと思っている。

（恩多町 Kさん）



◎ 市長 ◎

多磨全生園は国の施設なので、市として「あそこで遊んで良いですよ」ということはちょっと申し上げにくいのですが、入所者の方々があそこを将来、人権の森として残していきたいという運動をされておられて、その中に親子で憩える空間のようなものがきちんと整備されてくると良いなと思っています。

私はご近所の方が入ってあそこで遊んだりされている光景を見えていますけれども、自治会の皆さんや園の皆さんとまた相談させていただいて、気軽に中に入れるようなかたちを検討していただくように我々も努力したいと思っています。

◆市内に出産できる施設が少ない

今年、引っ越してきたが、産婦人科が思ったより少ないという印象を受けた。

(美住町 Sさん)



◎ 市長 ◎

産婦人科は市内に1つしかありません。それから助産院が1軒という状況なので、「少子化対策と言いつつ、お子さんを産める場所があまりにも少ないのではないか」ということはかねがね言われていることです。

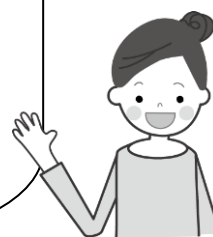
ずっと課題になっていてなかなか解消できていないんですけども、市が直接産院を設けるということは、今、考えていないので、市内の身近なところで妊娠中診ていただいたり、近所で出産できるような状況をどうやってつくっていくか、医師会の先生方とご相談しながら、さらにかんばって産院を誘致できるように努力したいと思っています。

◎ 子育て支援課より ◎

今後も引き続き、東村山市医師会と相談していきます。

◆子どもの文化教育の格差解消を

今年、東村山の市立保育園では観劇会とか鑑賞会をたくさんしていて、異常なほどしているなという印象だが、幼稚園には同じようなものが届いていない。保育園と幼稚園では国の管轄は違うんだろうけど、格差があると思っていて、保育が必要なお子さんと幼稚園だと預ける目的は違うが、お子さんにそういう体験が平等に届くようになると良いなと思っている。たぶん同じような理由だと思うが、児童クラブにはお金がたくさん降りているが、児童館の予算がとても少なくなったと聞いていて、児童館のイベントが減っている。要するに家庭にいまするお子さんとそうでないお子さんに与えられるものの差が広がっているように感じていて、そこを均した感じで市内の子ども皆が同じような体験ができるようにならないかと感じているが、いかかでしょうか。(美住町 Kさん)



◎ 市長 ◎

すごく重要な指摘だと思います。お子さんが保育園に通っていようが幼稚園に通っていようが、同じようなサービスを受けられるような状況にする。あるいはいろいろな情操教育や文化面で同じように体験できる状況をつくるというのはすごく大事なことかなと思っています。

今年度に関して言うと、実は国の交付金をいただいた関係で、国のいろいろな縛りの中でやっていると結果としてこうなってしまうという状況があります。今後、国の交付金を活用するにしても、できるだけ幅広くいろいろな境遇のお子さんが等しく同じような体験ができるようなことを心掛けていく必要があるかなと思っています。

特に幼稚園の保護者の方からは、税のかけ方として保育園に通うお子さん一人あたりにかかる税金

と幼稚園に通うお子さん一人あたりにかかる税金があまりにも差があり過ぎるということを常々言われていて、全く違う制度ですので同額をかけるということはなかなか現実的ではないんですけども、今、ご指摘があったような文化的な体験とかそういったことについて、保育園や幼稚園の差があまり出ないようにかたちでこれから我々も全体を見ながら事業を展開していきたいなと思っています。

◎ 子ども育成課より ◎

今年度については、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用して、各公立保育所で子ども向けプログラムを複数実施させていただきました。本プログラムは、公立保育所の園児のみならず、地域の子育て世帯も対象に実施したもので、多くの方々に参加していただきました。

◆食育に向けた取り組みを

インフラ系の設備も大事だが、子育てということでやはり子どもの体の成長がすごく気になっている。一般的に皆さん栄養に関する知識が少ないと感じていて、市が栄えるとか国が栄えるというのは人の問題なので、人材育成の意味でも子どもたちを育てるために栄養をちゃんと取り入れるといった食育というのをすごく重視してもらいたいと思っている。設備にお金を投資するのも良いが、人を育てるという意味で一番根幹のところを何とかしてもらえるとありがたい。そこがしっかりできると子どもが病気になる割合がかなり減ると思う。乳幼児の医療費は無料なので、すごくかかっていると思う。そういうので財政的なものもかなり削減できるかなと思う。

(秋津町 Yさん)



◎ 市長 ◎

どういところでもう少し食育をきちんとやったほうが良いと思われたのでしょうか。

世の中で「栄養がこれぐらい含まれています」とか言っているが、例えば「お肉をこれぐらい食べるとこれぐらいのタンパク質が取れます」と。ただ、実際は調理する前のタンパク質の量であって、調理したら半分以下になるし、ほとんど取れていない。そういう事実を皆さん知らない。だから栄養を取れていると思っているけど、思った以上に栄養って全然取れていない。そういう本当の情報を提供できる場があると良いと思っている。

(秋津町 Yさん)



◎ 市長 ◎

私もあまり専門的なことはよくわからないところがあります。ただ、妊娠・出産・子育て中のお父さん、お母さん、それからお子さんの健康とかお子さんの健全な発育のために、やはり食というのは非常に重要だと思っていて、今、妊娠されると市役所のほうで母子健康手帳をお渡しします。そのあと、ハローベビークラスの母親学級等で妊娠中のお母さんがどういう栄養を取ったらいいのかとか、あるいはお子さんに対してどうしたらいいのかというようなことを、市の栄養士がいろいろな機会に広報させていただいているところではありますけれども、今後、もう少し積極的に学校教育の場であるとか、いろいろな機会を捉えながら食育についても十分進めていきたいと考えております。

◎ 子育て支援課より ◎

妊娠期から、生まれたお子さんの授乳や離乳食、食育に至るまで、乳幼児学級や健診時などに情報提供や相談を実施しています。今後も引き続き推進していきます。

◎ 学務課より ◎

学校と教育委員会で組織する給食運営委員会では、子どもたちに食の大切さを伝えるため、給食主任教諭・栄養士が中心となって食育の授業を行い、夏休みには親子料理教室やスポーツ食育教室等の事業を行い食育の啓発に努めているところです。各校それぞれの給食の献立には、郷土料理や世界の料理、行事料理等を取り入れ、給食だよりを通してご家庭にも、成長の促進はもとより、食事の重要性、楽しさ、マナーなどを身につけられるよう、取り組みを進めております。また、保護者・学校・教育委員会・調理委託業者からなる、四者協議会を各校で組織し、より良い給食作りを行うため意見交換等を行っております。

◆幼稚園に通わせている家庭への補助の充実を

うちの子どもは4歳と2歳で両方とも保育園に行っていて、下の子は認可保育園に入った。その保育園が昨年4月から認証ではなく認可になったところで、保育料がかなり安くなって私としては助かったが、幼稚園に入れている友達の話を見ると、入園金などの補助はあるものの思ったよりはちょっと金額が少なめで、私が入れている保育園に比べると結構差がある。私立と公立というものもあると思うが、その差をもう少し縮められないか。 (久米川町 Tさん)



◎ 市長 ◎

先ほども申し上げたように、保育園を所管している国の省庁は厚生労働省で幼稚園は文部科学省というような成り立ちの違いがあって、そもそも保育園や幼稚園の保育料の制度が全然違うところがあります。基本的に保育園の保育料は親御さんの所得に応じて段階的に区分されているんですけども、幼稚園の場合は現在そういう体系になっていないので、そこで比べてしまうと所得階層の低い方にはやや重い負担になってしまっている状況があるかなと思っています。

市としても、財政的には大変厳しい状況ではありますが、今、幼稚園の保護者に対しては一定の補助をさせていただいて、少しずつですけれども増額をしたりして、保護者の経済的な負担軽減も図っているところでございます。

今後、幼児教育については国のほうで無償化するという動きもあって、市のほうも国の制度に併せて一定の財源措置をしながら、2人目、3人目のお子さんについては、今、かなり減額されるようになってきているところもあるので、今後も国の推移を見ながら幼稚園の皆さんも保育園の皆さんもほぼ同じ所得であれば同じぐらいの負担で行けるように努力していきたいと考えています。

◎ 子ども育成課より ◎

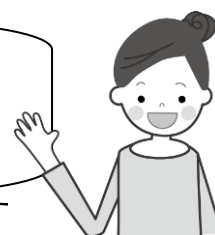
平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が開始され、新制度に移行した幼稚園・認定こども園・保育所等については、所得に応じた利用者負担（保育料）となっています。一方、新制度に移行

していない幼稚園については、所得に関係なく一律の保育料となっておりますが、就園奨励費補助金等が所得に応じて補助される仕組みとなっております。その世帯の所得や家族構成により、利用者負担が異なりますので、一概に比較することは困難であります。なお、公立と私立の保育所では、利用者負担は変わりません。

◆中央公園の駐車場を増やしてほしい

中央公園の駐車場が少ないので、増やしていただきたい。あと市内全体として駐車場があって子どもが遊べる公園というのがもう少し欲しい。

(青葉町 Kさん)



◎ 市長 ◎

私も子どもが小さい時はよく中央公園に子どもを連れて遊びに行き、その時には私も「もう少し駐車場が広ければ良いな」と思っていました。

ただ、ご案内のとおりあそこは東京都の公園なので、広げるために緑を削るということになると、それもまたどうかなというところもあるので、どのように駐車スペースを確保することが可能なのか市としても少し考えながら、東京都のほうと相談をさせていただければと思っています。

これも私の立場で言うのはどうかと思うのですが、中央公園の駐車場は西のほうにあります。東のほうに富士見文化センターという児童館と公民館の入っている施設があって、そこにも若干の駐車スペースがあります。あくまでもあそこの施設を使う方のための駐車スペースなので、「あそこに置いてください」ということは言いませんけれども、例えば雨が降った場合には中央公園だけではなくて富士見児童館等で遊んでいただいても良いのかなと思っていますので、そういうところもあるということでご承知おきいただければと思っています。

◎ 公民館より ◎

富士見文化センターは、公民館、児童館、憩いの家との複合施設となっています。また、ふれあい喫茶ふじみもあります。

駐車場は、それぞれの施設を利用される方の駐車場として利用させていただいています。都立中央公園と隣接しておりますので、それぞれの施設の利用者も、中央公園を散歩したり、広場で遊んだり、ベンチで将棋を指したりしていらっしゃいます。

敷地内の駐車台数に限りがありますが、文化センターを利用いただきながら、中央公園を有効活用いただければと思います。

◎ 児童課より ◎

富士見児童館は、市内では大きな児童館で子どもたちが安全で楽しく過ごせるスペースがあり、催しも開催しております。ぜひ、ご来館ください。

【市長まとめ】

今日はSさんに司会をしていただいて、非常にアットホームで和やかな雰囲気の中で、構えてではなくてたまたま遊びにきた方が、「タウンミーティングをやっているので普段ちょっと感じていることについてあえて意見を言ってみよう」というような感じで意見交換できたというのがすごく良かったと思っています。

言い足りない方もいらっしゃるかと思いますが、「ころころの森」でも継続して開催させていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

今日はありがとうございました。

市民と市長の対話集会
第98回
タウンミーティング記録集

発行 平成28年3月
東村山市役所市民部市民協働課
東京都東村山市本町1丁目2番地3
TEL 042(393)5111
(内線2564・2565)